



心揺さぶる美しいメロディ、ドラマティックなファンファーレ 俊英・阪田知樹が才気あふれるピアノズムを披露！

日本トップレベルのオーケストラ、読売日本交響楽団が盛岡に登場。極上の《オール・チャイコフスキー・プログラム》をお届けします。
国際的な活躍で頭角を現す新鋭マエストロの海老原光が、チャイコフスキーの「運命」とも呼ばれる交響曲第5番を指揮し
豊潤なサウンドを引き出します。

悲哀に満ちたメロディに始まり、終楽章では金管楽器の輝かしいフィナーレが感動を誘うでしょう。
傑作協奏曲のソリストを務めるのは、豊かな音楽性で人気を呼ぶピアニスト・阪田知樹。
スケールの大きな音楽を作り上げ、冒頭から一気に作品の世界へと引き込むでしょう。
豪華出演者たちが珠玉の二大名曲を披露する、至福のひとつときをどうぞお楽しみください。



海老原 光 (指揮) Hikaru Ebihara

豊かな音楽性と躍動感溢れる煌めく指揮に、今後益々の活躍が期待される実力派指揮者。鹿児島生まれ。鹿児島ラ・サール中学校・高等学校、東京芸術大学を卒業、同大学院修了。その後、ハンガリー国立歌劇場にて研鑽を積む。2007年プロ・フォン・マタチッチ国際指揮者コンクールで第3位、2009年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで第6位入賞。2010年アントニオ・ベドロッチ国際指揮者コンクールでは審査員特別賞を受賞。指揮を小林研一郎、高階正光、コヴァーチ・ヤーノシュの各氏に師事。これまでに国内主要オーケストラを指揮し、クアチア放送響やゲデレー響（ハンガリー）など海外オーケストラの客演でも高い評価を得ている。
オフィシャル・ホームページ：<http://www.hikaru-ebihara.jp>

©JUNICHIRO MATSUO



阪田 知樹 (ピアノ) Tomoki Sakata

奥深い音楽知識を持ち、国際的に活躍している新星ピアニスト。2016年フランス・リスト国際コンクール第1位、6つの特別賞を受賞。21年エリザベート王妃国際音楽コンクール第4位入賞。13年ヴァン・クライバーン国際コンクールにて弱冠19歳で最年少入賞。世界各地20か国以上で演奏を重ね、国際音楽祭に多数出演している。15年にCDデビューし、22年に阪田知樹ピアノ編曲集「ヴォカリーズ」と「夢のあとに」、23年に阪田の作曲した「アルト・サクソフォンとピアノのためのソナチネ」が音楽之友社より出版された。国内外でのテレビ、ラジオなどメディア出演も多い。23年出光音楽賞、神奈川文化賞未来賞、26年第27回ホテルオーケラ音楽賞を受賞。

©Ayuset

読売日本交響楽団 Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、クラシック音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。創立以来、世界的指揮者、ソリストと共演を重ねている。2019年4月からセバスティアン・ヴァイグレが第10代常任指揮者を務め、サントリーホールや事業提携を結ぶ東京芸術劇場などで充実した内容の演奏会を多数開催。17年にはサントリー音楽賞などを受賞。22年12月には文化庁芸術祭大賞、25年7月には三菱UFJ信託音楽賞を受賞。演奏会などの模様はBS日テレ「読売日本交響楽団 粗品と絶品クラシック」などで放送中。

どうぞ 情熱アシスト!
JOINSU ASSIST

**東北銀行は
情熱をもって取り組む事業を
応援します!**

2026年10月より岩手県内民放4局で
新シーズン放送開始予定!

これまでの放送内容は
こちら

TOHOKU BANK

※写真は全てイメージです。